



スマートフォンで  
広報たじみを  
持ち歩ける!

編集発行 多治見市役所 企画部 秘書広報課  
〒07-8703 岐阜県多治見市日ノ出町2丁目15番地 ☎0572(22)1111  
FAX 0572(24)3679 E-mail niyokohou@city.tajimi.lg.jp  
http://www.city.tajimi.lg.jp/ [Eメール版]http://www.city.tajimi.lg.jp/mobile



多治見市緊急メールに登録してください  
携帯電話に緊急情報を送信します  
https://services.sugumail.com/tajimi

## 第一号の 育児休暇取得者

私は中学生のころから将来は看護師になろうと決めていました。「手に職を付けさせたい」という両親の教育方針と、姉が看護師だった影響が大きかったですね。

現在、両親と夫と2人の子どもの6人暮らし。2人目の子を産んだ時、勤め先の木沢記念病院で第一号の育児休暇を取得しました。

子どもが小さいころは、幸運にも夜勤のない看護学校に専任教員として派遣されていましたので、子どもが熱を出したときなどは、勤務が終わってから近くのクリニックに連れて行くことができていました。

## 一人一人の 「働き方」を提案

平成25年8月に多治見市民病院の看護部長に就任しました。  
ここには140人近く

の看護師が在籍しており、そのうち9割が女性です。一人一人と会話をすることは困難ですが、各部署の看護部長や主任が要となり、スタッフのさまざまな悩みや主張を部長である私が把握できる体制づくりをしてきました。↓



多治見市民病院看護部看護部長  
認定看護管理者  
わたなべ よしこさん  
渡邊 よし子さん

今では、体調や家庭の悩みなどの相談まで受けるようになり、スタッフとの距離が近くなったと実感しています。例えば、朝子どもを学校へ送り出しても、学校へ行かずに帰って来てしまつて困っているという相談をしてきたら、

スタッフがいまいました。安心して働いてもらうためには、子どもが登校したことをしっかりと見届けてから出勤してもらった方が良く判断し、「時差出勤」を薦めました。また、核家族で夜間子どもを見

てくれる人がいないスタッフなどには、院内託児所の利用を薦めています。ずっと働き続けてもらえるように、スタッフ一人一人に合わせた「働き方」を提案していけたらいいと思います。また、看護師は、学んだ

## 女性が自立した 社会を

実は、東濃地域は慢性的な看護師不足に陥っています。資格がありながら、夫から扶養控除内で働くことを求められ、諦める人が多いと聞き、とても歯がゆい思いです。

私は、女性が生き生きと働き続けるためには、女性自らがもつと社会的、経済的に自立できるかと思っています。そのためには、夫や家族はそれをきちんと理解し協力し合うことが重要だと思っています。

# ひと 輝く女性



本連載では、市内の事業所や地域など、さまざまな分野で活躍する女性のインタビューを掲載します

人口と世帯数の動き		
平成29年2月1日現在		
総人口		
112,710人	(前月比)	-57人
男 54,884人	(前月比)	-28人
女 57,826人	(前月比)	-29人
世帯数		
45,825世帯	(前月比)	+47世帯

**200円バスでどこ行こう**

**駅から11分! ミニ温泉旅行**

多治見駅前2番バス乗り場から東鉄下半田川線に乗り約6分「総合体育館前」で下車。ショッピングセンター横を歩き、約5分で日帰り天然温泉に到着。四季折々の庭園を眺めながら温泉でのんびりとした時間を過ごしてみたいか。バスなら、お風呂上りのビールもOK。もうすぐ桜の季節。帰りは駅に向かって「陶彩の道」の散歩も楽しいですよ。

**多治見市内 平日10時から16時 1乗車200円の東鉄バスで!**